

# 不完全燃焼の前半戦

前期リーグ戦10節を終えた時点で、全12チーム中、駒大は10位と下位に低迷している。ここまで連勝なしと波に乗り切れなかったり、リーグ前半戦を振り返ろう。

強かった頃の「駒大復活」と「日本一」を目標に挑んだリーグ戦は、序盤から苦しい戦いを強いられることとなった。2節の日体大戦で3-0の完勝をおさめたものの、試合途中で主将の森建太が負傷退場。右膝前十字じん帯を断裂し、今季リーグ戦の出場が絶望的となってしまった。そんなキャプテンのためにも選手たちは気持ちを切り替え、再スタートを切ったが、やはりチームの精神的支柱だった「要」を失ったことは大きく、安定を欠いた試合が続くこととなる。

3、4節と勝ちきれずドローが続く、5節は今季2勝目を挙げたものの、その後の2試合は連敗を喫した。「気持ちの部分で足りていない」と秋田監督が話すように、技術面よりも勝利への執念という気持ちの面が前期リーグ戦の大きな課題として見られた。そして現在（第10節）に至るまでも勝っては負けてということも繰り返して、未だに連勝できていない。『内容では勝っていても、勝ち切るこゝろが足りない』そんな試合が多かった駒大の課題とし



副将の種岡（左）と大谷（右）

て気持ちの部分の他に挙げられるのは「最後の精度」と「集中力」だ。ラストパスやシュートの部分で精度を欠き、ゴールを逃す場面が多く見受けられた。そしてリードをしている場面でも一瞬のスキを突かれ失点を許してしまうというような集中力の部分が課題として浮き彫りとなっている。それでも前期リーグ戦を通して分かったのはマイナスの要素ばかりではない。多くの収穫もあった。

それはルーキーの活躍だ。第2節で公式戦デビューを果たした星キョウワァンは、安定した活躍でスタメンを勝ち取り、今節までコンスタントに試合に出続けている。「身体能力は驚異的」と監督も期待を寄せる大型ルーキーは、体幹の強さや守備の駆け引きなど課題はあるが、今後の守備の核を担う存在になるだろう。そしてもう1人紹介したいのは、ロングスロ

ーが武器のDF小川礼太だ。これまで数々のチャンスをロングスローから演出し、駒大の攻撃パターンの一つとなりつつある。他にも駒大高出身の万能型DF深見侑生など後期から即戦力として活躍が期待できる選手が多い。彼らが吹かせるルーキー旋風が今後のチームの追い風となるのが注目していきたい。

リーグ戦のことに話を戻すと、現在駒大の順位は12チーム中10位（下の順位表参照）。しかしながら、幸いなことに今季のリーグは混戦を極めている。これからリーグ中断期間に入るが、この夏にどれだけ修正してチームとして成長することができかがカギになってくるだろう。戦線離脱中のキャプテンのため、目標である「日本一」のため、獅子吼の男たちは後期リーグ戦での巻き返しを誓う。

（織原祥平）

JR東日本カップ2016 第90回関東大学サッカーリーグ戦 1部

順位	チーム名	勝点	試合数	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差
1	明治大学	21	10	6	3	1	20	11	9
2	筑波大学	18	10	5	3	2	18	9	9
3	法政大学	17	10	5	2	3	11	7	4
4	順天堂大学	16	10	5	1	4	20	16	4
5	慶應義塾大学	16	10	5	1	4	17	18	-1
6	桐蔭横浜大学	15	10	4	3	3	12	11	1
7	日本体育大学	14	10	4	2	4	11	13	-2
8	専修大学	12	10	3	3	4	15	16	-1
9	早稲田大学	12	10	3	3	4	11	12	-1
10	駒澤大学	11	10	3	2	5	13	14	-1
11	流通経済大学	11	10	3	2	5	9	15	-6
12	国士舘大学	4	10	1	1	8	9	24	-15

※第10節時点での順位です。

～お知らせ～  
FORZA駒澤BOXを駒澤大学駒沢校舎内の食堂にあるアイスクリーム売り場、学生部に設置しています。毎週金曜日に置いてるので、ご自由にお持ちください。

FORZA駒澤は毎週金曜日に発行！お便り、感想などはこちらまで  
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1  
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール  
forzakamazawa@hotmail.com  
駒沢大学 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

**次戦はアミノバイタルカッ  
プ予選!!**

< 場所 > 時之栖スポーツセンター裾野グラウンド

< 日時 > 6月25日(土)  
[会場へのアクセス]

◆御殿場線「岩波駅」からタクシー

応援よろしくお願ひします！